

平成17年度再資源化預託金等特別会計収支予算書(案)の説明書

(単位:千円)

科 目	予算額	内容説明																						
<p>収入の部</p> <p>再資源化等預託金預り収入 (=期間中に自動車所有者が預託した再資源化等預託金の合計額)</p>	<p>394,721,390</p>	<p>下記 の預託台数に下記 の平均単価及び下記 の装備率を乗じて算出。</p> <table border="0"> <tr> <td>台数(添付2参照)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 新車購入時預託</td> <td>約597万台</td> </tr> <tr> <td> 継続検査時等預託</td> <td>約3,145万台</td> </tr> <tr> <td> 引取時預託</td> <td>約404万台</td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td>約4,146万台</td> </tr> </table> <p>引取時預託台数はエアコン後付の預託台数約15万台を含む。 平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)</p> <table border="0"> <tr> <td> ASR</td> <td>約6,300円</td> </tr> <tr> <td> エアバッグ類</td> <td>約2,200円</td> </tr> <tr> <td> フロン類</td> <td>約2,100円</td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td>約10,600円</td> </tr> </table> <p>装備率</p> <table border="0"> <tr> <td> エアバッグ類装備率</td> <td>約59%</td> </tr> <tr> <td> エアコン装備率</td> <td>約93%</td> </tr> </table> <p>未装備車を含めた全体の平均単価は、エアバッグ類1,300円、フロン類2,000円 平均単価の算出方法については、添付3参照。</p> <p>(注)再資源化等預託金預り収入は、添付2の「再資源化預託金等の資金管理人への入金時期について」のとおり、預託されてから資金管理人に入金されるまでには一定の期間を要するため、入金額とは一致しない。</p>	台数(添付2参照)		新車購入時預託	約597万台	継続検査時等預託	約3,145万台	引取時預託	約404万台	合計	約4,146万台	ASR	約6,300円	エアバッグ類	約2,200円	フロン類	約2,100円	合計	約10,600円	エアバッグ類装備率	約59%	エアコン装備率	約93%
台数(添付2参照)																								
新車購入時預託	約597万台																							
継続検査時等預託	約3,145万台																							
引取時預託	約404万台																							
合計	約4,146万台																							
ASR	約6,300円																							
エアバッグ類	約2,200円																							
フロン類	約2,100円																							
合計	約10,600円																							
エアバッグ類装備率	約59%																							
エアコン装備率	約93%																							
<p>情報管理預託金預り収入 (=期間中に自動車所有者が預託した情報管理預託金の合計額)</p>	<p>5,370,148</p>	<p>下記 の預託台数に下記 の単価を乗じて算出。</p> <table border="0"> <tr> <td>台数(添付2参照)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 新車購入時預託</td> <td>約597万台</td> </tr> <tr> <td> 継続検査時等預託</td> <td>約3,145万台</td> </tr> <tr> <td> 引取時預託</td> <td>約389万台</td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td>約4,131万台</td> </tr> </table> <p>情報管理預託金(主務大臣が認可したもの) 1台当たり 130円</p> <p>(注)情報管理預託金預り収入は、添付2の「再資源化預託金等の資金管理人への入金時期について」のとおり、預託されてから資金管理人に入金されるまでには一定の期間を要するため、入金額とは一致しない。</p>	台数(添付2参照)		新車購入時預託	約597万台	継続検査時等預託	約3,145万台	引取時預託	約389万台	合計	約4,131万台												
台数(添付2参照)																								
新車購入時預託	約597万台																							
継続検査時等預託	約3,145万台																							
引取時預託	約389万台																							
合計	約4,131万台																							
<p>再資源化預託金等特定資産運用収入 (=期間中に特定資産の運用で得られる収入)</p>	<p>1,380,301</p>	<p>添付4参照。</p>																						
<p>前期繰越収支差額 (=前年度の収入合計と支出合計の差額)</p>	<p>65,730,378</p>	<p>平成16年度に預託された再資源化預託金等のうち、平成16年度に資金管理人がまだ入金を受けていない額。</p>																						

(単位:千円)

科 目	予算額	内容説明
支出の部		
再資源化等預託金払渡支出 (= 期間中に自動車製造業者等から払渡請求された預託金の合計額)	28,615,690	<p>剰余金が発生せず、全額がメーカー等に払い渡されるものとして下記 のASR・エアバッグ類装備車・エアコン装備車の払渡台数に下記 のそれぞれの平均単価を乗じて払渡支出額を算出(28,740,690千円)。その上で、この額から予算に計上する承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計繰入支出125,000千円を控除して算出。</p>
		<p>台数(添付5参照)</p>
		<p>ASR 約348万台</p>
		<p>エアバッグ類装備車の台数 約95万台</p>
		<p>エアコン装備車の台数 約281万台</p>
		<p>平均単価</p>
		<p>ASR 約6,000円</p>
		<p>エアバッグ類 約2,000円</p>
		<p>フロン類 約2,100円</p>
		<p>平均単価の算出方法については、添付3参照。</p>
情報管理預託金払渡支出 (= 期間中に情報管理センターから払渡請求された預託金の合計額)	477,488	<p>下記 の払渡台数に下記 の単価を乗じて算出。</p>
		<p>台数(添付5参照)</p>
		<p>約367万台</p>
		<p>情報管理預託金(主務大臣が認可したもの)</p>
		<p>1台当たり 130円</p>
未払再資源化預託金等利息支払支出 (= 期間中に自動車製造業者等から請求された預託金に係る利息の合計額)	52	<p>下記 の払渡台数に下記 の平均単価及び下記 の利率を乗じて算出。</p>
		<p>台数</p>
		<p>約5万台</p>
		<p>想定利率が低いため、利息が1円以上となる単価の高い払渡しの対象台数を算出。具体的には、ASR払渡し対象(約348万台)の一部(バス及び普通乗用車の一部)の台数を算出。</p>
		<p>ASR平均単価</p>
		<p>約15,100円</p>
		<p>想定利率</p>
		<p>0.007%</p>
		<p>平成16年度に再資源化預託金等を運用して得た運用収入(約7百万円)を平成16年度末における再資源化預託金等の総額(約977億円)で除して得た率。</p>

(単位:千円)

科目	予算額	内容説明																										
再資源化預託金等輸出返還支出 (=期間中に自動車所有者から返還請求された預託金の合計額)	892,749	<p>下記 の返還台数に下記 の平均単価及び下記 の装備率を乗じて算出。</p> <table border="1"> <tr> <td>台数</td> <td>10万台</td> </tr> <tr> <td>平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ASR</td> <td>約6,300円</td> </tr> <tr> <td>エアバッグ類</td> <td>約2,100円</td> </tr> <tr> <td>フロン類</td> <td>約2,100円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>約10,500円</td> </tr> <tr> <td>装備率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エアバッグ類装備率</td> <td>約30%</td> </tr> <tr> <td>エアコン装備率</td> <td>約92%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">未装備車を含めた全体の平均単価は、エアバッグ類600円、フロン類1,900円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平均単価の算出方法については、添付3参照。</td> </tr> <tr> <td>情報管理預託金(主務大臣が認可したもの)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1台当たり</td> <td>130円</td> </tr> </table>	台数	10万台	平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)		ASR	約6,300円	エアバッグ類	約2,100円	フロン類	約2,100円	合計	約10,500円	装備率		エアバッグ類装備率	約30%	エアコン装備率	約92%	未装備車を含めた全体の平均単価は、エアバッグ類600円、フロン類1,900円		平均単価の算出方法については、添付3参照。		情報管理預託金(主務大臣が認可したもの)		1台当たり	130円
台数	10万台																											
平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)																												
ASR	約6,300円																											
エアバッグ類	約2,100円																											
フロン類	約2,100円																											
合計	約10,500円																											
装備率																												
エアバッグ類装備率	約30%																											
エアコン装備率	約92%																											
未装備車を含めた全体の平均単価は、エアバッグ類600円、フロン類1,900円																												
平均単価の算出方法については、添付3参照。																												
情報管理預託金(主務大臣が認可したもの)																												
1台当たり	130円																											
未払再資源化預託金等利息支払支出 (=期間中に自動車所有者から請求された預託金に係る利息の合計額)	5	<p>下記 の返還台数に下記 の平均単価及び下記 の利率を乗じて算出。</p> <table border="1"> <tr> <td>台数</td> <td>約0.4万台</td> </tr> <tr> <td colspan="2">想定利率が低いため、利息が1円以上となる単価の高い返還の対象台数を算出。具体的には、ASR返還対象(10万台)の一部(バス及び普通乗用車の一部)の台数を算出。</td> </tr> <tr> <td>ASR平均単価</td> <td>約15,100円</td> </tr> <tr> <td>想定利率</td> <td>0.007%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成16年度に再資源化預託金等を運用して得た運用収入(約7百万円)を平成16年度末における再資源化預託金等の総額(約977億円)で除して得た率。</td> </tr> </table>	台数	約0.4万台	想定利率が低いため、利息が1円以上となる単価の高い返還の対象台数を算出。具体的には、ASR返還対象(10万台)の一部(バス及び普通乗用車の一部)の台数を算出。		ASR平均単価	約15,100円	想定利率	0.007%	平成16年度に再資源化預託金等を運用して得た運用収入(約7百万円)を平成16年度末における再資源化預託金等の総額(約977億円)で除して得た率。																	
台数	約0.4万台																											
想定利率が低いため、利息が1円以上となる単価の高い返還の対象台数を算出。具体的には、ASR返還対象(10万台)の一部(バス及び普通乗用車の一部)の台数を算出。																												
ASR平均単価	約15,100円																											
想定利率	0.007%																											
平成16年度に再資源化預託金等を運用して得た運用収入(約7百万円)を平成16年度末における再資源化預託金等の総額(約977億円)で除して得た率。																												
承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計繰入支出 (=期間中に承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計に繰り入れた預託金の合計額)	125,000	資料3 - 7、3 - 8参照。																										

(単位:千円)

科目	予算額	内容説明																								
再資源化預託金等特定資産組入支出 (= 再資源化預託金等のうち、実際に資金管理法人が入金を受け、特定資産として組み入れたものと再資源化預託金等特定資産運用収入の合計額)	409,151,562	<p>下記 の入金台数に下記 の平均単価及び下記 の装備率を乗じて算出して得た額と再資源化預託金等特定資産運用収入を合計して算出。</p> <table border="0"> <tr> <td>台数(添付2参照)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 新車購入時預託</td> <td>約593万台</td> </tr> <tr> <td> 継続検査時等預託</td> <td>約3,263万台</td> </tr> <tr> <td> 引取時預託</td> <td>約394万台</td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td>約4,250万台</td> </tr> </table> <p>引取時預託台数はエアコン後付の預託台数約13万台を含む。</p> <table border="0"> <tr> <td>平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> ASR</td> <td>約6,300円</td> </tr> <tr> <td> エアバッグ類</td> <td>約2,200円</td> </tr> <tr> <td> フロン類</td> <td>約2,100円</td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td>約10,600円</td> </tr> </table> <p>装備率</p> <table border="0"> <tr> <td> エアバッグ類装備率</td> <td>約59%</td> </tr> <tr> <td> エアコン装備率</td> <td>約93%</td> </tr> </table> <p>未装備車を含めた全体の平均単価は、エアバッグ類1,300円、フロン類2,000円 平均単価の算出方法については、添付3参照。</p> <p>情報管理預託金(主務大臣が認可したもの) 1台当たり 130円</p> <p>(注)再資源化預託金等特定資産組入支出は、預託金として実際入金を受け、特定資産として組み入れる際に発生する支出であるため、この数字が再資源化預託金等の実際の入金額と一致する。 そのため、資料4「平成17年度再資源化預託金等運用計画(案)」の「1.平成17年度における運用額の見通し」における収入額として採用。</p>	台数(添付2参照)		新車購入時預託	約593万台	継続検査時等預託	約3,263万台	引取時預託	約394万台	合計	約4,250万台	平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)		ASR	約6,300円	エアバッグ類	約2,200円	フロン類	約2,100円	合計	約10,600円	エアバッグ類装備率	約59%	エアコン装備率	約93%
台数(添付2参照)																										
新車購入時預託	約593万台																									
継続検査時等預託	約3,263万台																									
引取時預託	約394万台																									
合計	約4,250万台																									
平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)																										
ASR	約6,300円																									
エアバッグ類	約2,200円																									
フロン類	約2,100円																									
合計	約10,600円																									
エアバッグ類装備率	約59%																									
エアコン装備率	約93%																									
次期繰越収支差額 (= 当年度の収入合計と支出合計の差額)	58,050,655	平成17年度に預託された再資源化預託金等のうち、平成17年度に資金管理法人がまだ入金を受けていない額。																								